



出水高校だより

第二十四号 令和三年十二月十六日

全国大会へ

尾上彩音さん(二年生)が、弁論の九州大会に出場し、全国大会への出場権を獲得しました。



尾上彩音さん

尾上さんが出場したのは全九州高等学校総合文化祭弁論部門(長崎大会)です。十二月十一日に長崎市で開催されました。

弁論の題名は「私が生きる理由」です。「何のために生まれてきたのか」という自問自答を繰り返してきた尾上さんは、友人たちの相談を聴き続けてきました。「あなたにだけは話せた」と穏やかな表情を見せる友人たちと接する中で、尾上さんは



九州大会の様子

将来、孤独な人に寄り添うカウンセラーになりたいと思うようになったのだそうです。

「私の生きる意味は誰かの支えになること」尾上さんは弁論の中でそう述べました。

人前で話すことは、実はあまり得意ではないという尾上さん。来年八月に東京で開催される全国

高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)に向けた意気込みを尋ねると、「本当に伝えたい内容になっていくかどうかをじっくり考え、聴く

お便りいただきました

人の心にしつかり届くような弁論をしたいと思えます」と笑顔で答えてくれました。
尾上さんの更なる活躍に期待しています。

寒いですね。

先日、鹿児島の方へおれんじ鉄道を利用する際、野田の駅でもさわやかな高校生に出会いました。高校生的方から声かけしてくれて、笑顔のすてきな男の子でした。今日は英語のテストがあるとか…。出水高校の学生さんでした。その日は一日中心豊かになり、桜島までの一人旅を楽しんで来ました。又、どこかでその子に会って話をしてみたいです。

マスク生活の中、話をする機会も少なく、心淋しい日々の中、心の処方箋ですね。

かしこ
おばあさんより

本日、校長のもとに、一般の方からこのようなお便りが届きました。

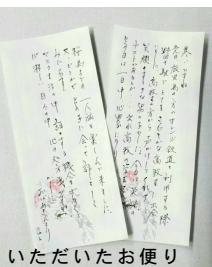
にも心優しい生徒がいるのだなあとうれしくなりました。

心が温かくなるような内容でしたので、さっそく今朝、先生方に紹介しました。

お便りをくださった方ありがとうございます

出水高校には、こんな

ございました。



いただいたお便り